

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

【特別編⑭西堀は含】

新潟県の新型コロナウイルス患者も四月に入り過去最高人数を更新して新潟市に特別警報が発令される一方で、高齢者を中心にしてワクチンの接種も始まりました。この記事で三條別院の参道である本寺小路周辺の様子等は報告してきましたが、県内で最も人口が多い新潟市の中心部の現状について、超願寺副住職の富沢栄昌氏にお聞きしました。

年明け早々の礼参。「コロナが憎いです」と、母親を亡くされた喪主がボソツと呟かれたのが印象に残りました。県外在住で、病院の面会制限もあり、思うように看取ることが出来ないままになってしまったとの悔恨。会いたくても会えず、想いを伝えられないお別れ。昨年来、そういうった不本意な声を耳にする機会が増えました。いわゆる「家族葬」がお葬儀の大前提のようになり、身内でも県外在住者との接し方に苦慮する空気の中、そもそも本質的にままたまな生老病死にどのように向き合えば良いのか模索しています。

今回、西堀のお寺の様子を中心ということに執筆を依頼されましたが、新型コロナウイルスへの対応はお寺によって様々です。自坊では、

消毒液や非接触式検知器の設置、行事の際のアクリル板の使用、お斎の代わりにお弁当をお持ち帰りいただくなど、できる範囲での感染症対策に努めています。昨年、県第一号の感染者のお葬儀の際には、さすがに院内に緊張が走りましたが、どうにか無事に勤まりました（新潟親鸞学会「親鸞NOW」三二二号参照）。ご門徒さんのご理解を得られれば、ある程度、ご法事や行事は可能だと考えています。

しかし、組としての活動となると、周知の範囲や当日の参加者数が読めず、リスクやコストを考慮した結果、二年続けて中止という苦渋の決断が続いています。他宗の方との交流の場になつてきた寺町の花まつりも中止。こうした状況がいつまで続くのか、収束後に再開できるのか気がかりです。

一方で、御門首継承式のライブ配信など、これまでになかった形での教化活動が実現し始めています。ご門徒さんから、本山の報恩講を初めて見たという反応をいただき、いつか上山されるご縁になればと願っています。三月の墓地管理に関する学習会では、講師の先生は真宗会館からオンライン参加。スタッフの皆様のご尽力のおかげで、貴重なお話を拝聴しました。昨今、教区の改編が取り沙汰されていますが、教区の境を越えた学習の機会を今後も設けていた

けるとありがたいです。

富沢 栄昌 氏

(第二十一組超願寺副住職)



はじめは新潟で一番の歓楽街である古町の様子をお聞きしようとしたのですが、新型コロナウイルス感染者の葬儀を勤められたというお話を聞き、法務に携わる身として気軽に外で飲食できない、より緊迫した状況が伝わってきました。以下事務局の雑感を連ねます。

※親鸞NOWは新潟親鸞学会機関紙のため、該当箇所を別院HPで公開させていただきます。

▲新型コロナウイルス感染症葬儀で亡くなった新潟県内の方は五月三十一日現在で三十五名。県内ではじめに亡くなった方が超願寺様で葬儀をされたこと、遺族の方々の悔しさは、計り知れないものがあることと存じます。今後、県内でも感染症で亡くなった方の葬儀を勤めることが増

えてくることも、十分あり得るようには思いません。

▲「葬式仏教」と揶揄される場合もありますが、このような緊急事態に、遺族と共に法事を勤めることの大切さをあらためて知らされます。また、法事の形の変化についても、大きな課題です。法要等が中止になる一方、本山・教区でのライブ配信・オンライン講義等も積極的に活用いただいているようです。

▲また、周辺の古町は県内一の歓楽街で、新型コロナウイルスの影響で、新潟市は飲食店の営業時間の短縮要請が四月二十一日から五月九日まで行われ、五時から二十一時までの営業時間の短縮と、酒類の提供は二十時までに限られました。一定の効果があったということで、九日に県独自の新潟市への「特別警報」も同時に解除されました。しかし、周辺寺院の御住職等からも、御門徒に接する機会が多いため、以前の様に気軽に外で飲食できないが実際のところであるということも聞いています。

▲一方、長岡市の新型コロナウイルス患者の増加に伴い五月十七日から五月三十一日まで時短要請が行われました。県内上場企業の決算の分析によると食品スーパーは売上高、各利益が過去最高ホームセンター等も「巣こもり需要」に加え記録的な大雪の影響もあり、需要が伸びて利益が高かったと「新潟日報」の記事にありましたが、飲食店については、継続的に被害を受け続けています。

▲新型コロナウイルスの影響の公的な統計データについては、総務省統計局の五年ごとの経済活動調査が本年六月に行われるということで、次第に

明らかになるようです。

▲新型コロナウイルスの影響で混乱する中、昨年は『フアクトフルネス』がベストセラーになり、「思い込みを乗り越えデータを基に世界を正しく見る習慣の大切さ」が注目されてきましたが、刻々と状況が変わり、変化の度合いが著しい中、統計を待つていられないこともまた事実です。仮説と独断の差異を見極めることも難しく、勇気をもって足を踏み出すことと、無鉄砲の違いも見極めが困難です。

▲新型コロナウイルス特別編を昨年の四月から継続してきましたが、実際にそこに暮らす人々の言葉を聞いて、何が起きているのか判断する一つの資料となればと思っています。

○次回の「三条別院に想う」は、

井上知法氏（第十三組願性寺）より

（ご執筆いただきます）

【今回は特別編⑤長岡は今】

長岡市は本年のゴールデンウィーク明けに感染者数が過去最多を記録し、感染経路の分からない患者も増えてきたために、五月三十一日まで飲食店への時短要請が行われ、一定の効果があったために解除がされる予定です（五月三十一日現在）。今日では新潟市の御寺院の様子をお聞きしましたので、今回は長岡市の様子をお聞きする予定です。

三条別院公開講座の「案内

二〇二二年は越後の念仏者曾我量深師（一八七五（明治八）年～一九七一（昭和四十六）年）の没後五十年にあたります。当別院では、曾我量深師の祥月命日の六月二十日に、新潟親鸞学会にご協力をいただき、曾我師の遺徳を偲び、長谷正當先生をお招きし、公開講座を開催いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、リモート開催となる場合があります。



また、前日十九日は吉運堂サルナートにて、新潟親鸞学会第十六回（白根）大会があり、十五時から長谷正當氏の記念公演「親鸞聖人の往生観」（資料代五百円）があります。近年「往生」という概念をめぐって活発な論争がありますが、長谷先生は曾我量深氏の理解を中心に、京都学派の思想も背景にしながら研究されています。それをふまえての講演になりそうだと思います。こちらでもリモート開催になる場合があります。

◇日時 六月二十日（日）午後二時～四時半

◇講師 長谷正當氏（京都大学名誉教授）

◇講題 正定聚に住するということ

―曾我量深先生の「分水嶺の本願」に学ぶ―
◇聴講無料 どなたでもお参りいただけます。



【講義しながら思索を続ける曾我師】

▲新型コロナウイルス感染症のために方途の変更や中止の決定があった場合、三条別院ホームページにて告知します。

四月に庭講でつくった藤棚に花が咲きました！

庭講員一同、棚を作ったばかりの今年はまだ花を期待するのは早いと思っていました。ですが、わずかに伸びた蔦に少量ながらも立派な白藤を咲かせるその姿に一同感激しております。今後、さらに蔦を伸ばし立派な藤棚になっていくのが今から楽しみです。

毎月十三日の午前に活動し、午後から定例法話を聴聞しています。参加者を常時募集中です。ぜひ皆さんの知恵や技術をお貸しいただき、別院の庭の整備にご協力ください！



【庭講の米山氏と大泉氏。書院の窓から真っ白な藤が見えます！】

フードバンク『弘誓のふねプロジェクト』ご協力をお願い

【県フードバンク連絡協議会より】

昨年四月以降、フードバンク連絡協議会では県内外の多様な組織と連携し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急激に経済的・社会的困窮状態に陥り、日常生活が失われた頼り先の少ないひとり親家庭の子どもと家族に対し、食品や衛生用品の緊急支援に取り組んで参りました。

①フードドライブ（寄付食品の収集）

ご門徒さまや地域コミュニティ、近所の食品企業等に、チラシやポスターなどで広報し、フードパントリー実施に合わせた食品提供のご協力を周知。協力者にはフードパントリー当日の午前中や開催時間帯に会場に持ち込みを依頼。寺院さまには、当会からのぼり旗や竿・注水台セットやチラシ・ポスター、回収コンテナ等をご提供いたします。集まった食品は、フードパントリー当日に配布するとともに、余った食品は当会にて持ち帰ります。

②フードパントリー（食品お渡し会）

寺院さまの境内や駐車場を月に一回四時間程度（正午十二時～午後四時）お借りし、約六十世帯のひとり親家庭の子どもと家族が来場して食品を受け取ります。当日の周知や予約は当会で管理します。全体の統括を当会が行い、運営ボランティアスタッフが、登録するひとり親家庭の子どもと家族が担います。

寺院さまには、天候によりお部屋をお借りしたり、スタッフや来場者にトイレをお貸し願います。

【お問い合わせ・申し込み先】

新潟県フードバンク連絡協議会 事務局
担当：小林淳 (090-874317838)

T955-0861 新潟県三条市北新保1-2
0-18 / TEL&FAX 0256-134
-8960

Eメール info@nigata-fblc.org

◇五月の別院でのフードドライブにご協力いた
だいた御寺院・御門徒

第十五組山香寺、第二十組誓慶寺、佐渡組門徒
その他匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し
上げます。次回引き取り予定日は六月二十四日(木)です。



【別院でも毎月物資の受渡がありますので、ぜひご協力ください】

YOUTUBEチャンネル登録お願いします

◆最近更新した法話

二〇二〇年二月の富沢慶栄氏による「釈尊伝」

◆近日更新予定

二〇二二年五月の富沢慶栄氏による「釈尊伝」

チャンネル登録者数が千に達すると、
より便利なサービスも提供できると
いうことですので、ぜひ皆さんチャ
ンネル登録にご協力お願いします。



また、お知り合いにもおすすめてください。

◆ZOOMを試してみたい人いますか？

会議や聞法会にZOOMが使用される場合が増
えています。使ってみたいが方法が分からない
という問い合わせがしばしば。ご連絡いただ
ければ①三条別院にて、②ご自宅と別院をつな
いでみる、と二通りの方法で練習することが可能
です。何人かで行ってみると雰囲気もわかると
思いますので、お気軽にご連絡ください。日程
調整させていただきます。別院職員がわかる範囲で
お教えします。また、別院からの連絡をメール
でも行いたいと考えておりますので、メールに
てご一報いただければスムーズにいくと思いま
す。また、メーリングリストに登録希望の方も
ご連絡ください。

◆三条別院のメールアドレス

sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

◆連絡内容 氏名、メールアドレス、携帯番号

◆直接電話 0256-33-0007での相談も可能です。

宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八
日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と
法話、その後、座談会の場を開いております。

どなたでもお参りいただけます。皆様の「参
詣をお待ち申し上げます」。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午
後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 六月二十八日(月) 午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

塚本智秀氏(第十八組等蓮寺)

御文五帖目 二・三通「当流勸化」

◆今後の講師一覧(御文五帖目)

七月 佐々木憲雄氏(第十五組光善寺) 一通(末代無智)

八月 濱松智弘氏(佐渡組勝廣寺) 十二通(御袖すがり)

九月 大久保州氏(佐渡組廣永寺) 六通(一念に弥陀)

十月 佐々木祐玄氏(第十五組光善寺) 二通(八萬の法蔵)

十一月 村手淳史氏(第二十組光圓寺) 第十一通(御正忌)

十二月 北島栄誠氏(第十一組長福寺) 第十通(聖人一流)

▲五月からは蓮如上人のお手紙である『御文』五帖目につ
いて、各講師から法話いただきます。

定例法話会のご案内

毎月十三日の先門首のご命日(両度の命日)に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。五月からは仏教入門講座「釈尊伝」です。昨年二月から四月まで全三回で予定されていた「釈尊伝」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、一回目を終えたところで延期となっております。この度あらためて、三条真宗学院で仏教を指導いただいている富沢慶栄氏に、前回の続きから三回お話しいただけることとなりました。御命日の集いの座談等で、「阿弥陀如来と釈尊の関係」についてしばしば話題となることがあります。史実としての釈尊の生涯とその基本的な教えについて学ぶ場所が意外と少ないということが、開催のきっかけとなっております。

昨年二月の第一回の様子をYOUTUBEの三条別院チャンネルにアップしたので、ぜひご覧ください。

◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後一時三十分より(一時間程度)

◆場所 三条別院 旧御堂

五月〜七月(全三回)

富沢慶栄氏(第二十一組超願寺)

◆講題「釈尊伝―仏教入門講座―」

◆聴講無料(ご自由にお参りください)。

▲古代インドに王子として生まれた釈尊は、何に悩み、何を考え、何を悟ったのか? 仏教のはじまりとその中心思想を釈尊の生涯を通して全三回でお話しいただく予定です。



その他の講座案内

○別院声明教室(全五回・途中参加可能)

〔月一回、午後六時〜八時〕

二月十七日(水)〔済〕、三月二十五日(木)〔済〕、

四月二十六日(月)〔済〕、五月二十四日(月)〔済〕、

六月二十一日(月)

講習内容 真宗大谷派勸行集(赤本)

講師 島津崇之氏(第十八組満行寺)

参加費 五〇〇円/回

○別院書道教室(参加者継続募集中!)

〔月二回第二、第四水曜日、午後六時三十分〜八時〕

講師 木原光威氏(新潟真書道協会理事)

月謝 三二〇〇円(テキスト代含む)

現在同朋会館での練習を再開しています。初心者から経験者まで、ご要望に応じて指導していただいています。有段者も生まれ、師範試験に挑戦中の生徒もいます。参加者継続募集中です!

随 時 募 集 中

○三条別院有志の会庭講・花講

毎月十三日の定例法話会の前に庭講の作業をしています。

また、定期的に土日にも活動を行う予定です。花講は列座が月に数回立花するのにあわせて活動しています。どなたでも参加できますので、ぜひお声がけください。

○別院奉仕研修・三条別院巡回

新型コロナウイルス感染症流行下で、時機により状況が異なりま

◆◆編集後記◆◆

つい先日、今年の中央声明講習会の中止が決定したと、本山から連絡があった。感染症による二度目の中止であった。実は去年、今年と、本科一回の受講を予定していたので、こんな状況だから仕方ないという気持ちや、またかという気持ち、これまで稽古してきたのにやるせないといった感情がないまぜになった感覚がある。感染数の高止まりが続く状況で、緊急事態宣言が延長か否かの最中での連絡であり、本山としても苦渋の決断であったのだろうと推察できるが、それでも切ないものは切ない。

けれども考えてみると、声明作法、おいては儀式作法のすべては、常日頃から鍛錬し、研鑽していくものである。だから、中央声明講習会があるから頑張つて稽古をするのではなく、行住坐臥にかえつていつ講習を受けても問題なくお勤めできますという、その姿勢が見られるのではないかとも思う。自身を振り返ってみると、中止となつて揺れる心の機微から、情けないことに講習会をどこかゴールと考えていたようにも思う。しかし、むしろ講習会はスタートであり、通過点に過ぎない。そこから続くお勤めの歩みが、本来なのだと思う。

割り切れない悲しみは残るが、中止になるうがなるまいが、変わらないの弛まない研鑽を続けたい。

(廣河)

三条教区通信

第165号

発行日 2021年6月1日
発行者 三条教務所長 海岸秀道
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
Tel (Fax): 0256-33-2805 (2847)
Email: sanjo@higashihonganji.or.jp
Website: https://sanjobetsuin.or.jp/

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

信心というのは
凡夫が仏さまと同じ命を
共有するという出来事

大峰 顯

The entrusting heart is the occurrence of the sharing of the same life between ordinary beings and the Buddha.

Omīne Akira

三条・高田教区改編のお知らせ

第3次教区改編説明会が2021年5月21日、昼夜2部にわたり、三条教区及び高田教区において開催されました。

三条教区では、三条別院本堂を会場にオンライン参加の方たちも加わり、始めに高野教導中央改編委員(仙台教区)及び延澤栄賢宗務所組織部次長から全国の教区改編の進捗状況及び宗門の行財政・宗務改革推進の動きについて報告を受けた後、三条・高田教区改編の合意案について説明がなされました。

合意案は、昨年9～10月の各組教務所長巡回及び11月の第2次説明会における教区の皆さんの意見と要望に応えるため、本年3月の合意を見送り、新教区に関する、教区・組・別院、教務所等の組織・運営や、教化体制と方向性、両教区の財産・会計、御依頼、財務方針について、具体的な協議を今年2～5月の間行ってきた中で、さらに内容が整理されたものです。

主に、現三条教務所を新教区の教務所とするため、旧高田教務所は、宗憲の定めにより、教務支所となること、これまで高田教区で「教務所」として呼ばれ、利用されてきた事務所について、変わらぬ窓口機能と、相応しい呼び方を検討する必要があることや、三条・高田・新井別院の崇敬護持の区域を従来のままとしながらも、その運営・護持については、別途協議を行っていくこと、また、現在両教区に存在する第11～13組の名称について、当面、新教区発足時には三条第11組・高田第11組として区別することや、教化体制のイメージや財務方針が加えられ、高田・新井別院の輪番及び宗派御依頼金額の減額に関する要望が加えられています。

合意案

1 新教区の名称に関する事項

新教区の名称は、新潟教区とする。

2 改編実施に係る日程に関する事項

改編の期日は、2023年7月とする。

3 教務所及び教区の施設に関する事項

新潟教務所の所在地は、新潟県三条市本町二丁目1-57(現三条教務所)とする。

現高田教務所は、宗憲第60条第2項に定められる機関*1とし、教務所事務全般を行う。なお、機関の呼称については、新教区準備委員会において定める。

【参考】宗憲(抜粋)

*1 第60条 地方の宗務を運営するため、全国を教区に分け、各教区に教務所長を置き、教務所を設ける。
2 特に必要な教区に、教務支所を設けることができる。

4 改編前の改編関係教区の財産に関する事項

改編前の旧教区が所有する財産は、すべて新教区が承継する。新教区準備委員会において各会計を精査し、統合できるものはまとめていく。

5 新教区に編入される別院に関する事項

旧教区の管轄区域に所在する別院(三条・高田・新井の3別院)の崇敬区域は、従前のおりとする。ただし、3別院の運営、護持方法等に関する事項は、「別に設ける協議の場(名称未設定)」において協議する。

6 新教区の組の名称に関する事項

当面の間、現行の組の名称を承継する。ただし、新教区発足時には、旧教区の第11組、第12組、第13組のみ組名の前に「三条」、「高田」を付す。

7 その他必要な事項

(1) 教化体制について

① 教化現場の軸を組・連組とした新教化体制を構築し、より多くの人が共同教化に参画(参加並びに企画)しやすいようにする。

② 本山、教区、エリア、連組、組等、各組織の教化の上での役割を明確にし、教化事業の効率化をはかる。

③ 新教区においては、教区教化委員会のもと、改編前の旧教区を教化エリアとし、教化事業を展開する。

④ 教化体制のイメージ図は別紙のおりとする。ただし、新教区の教化方針を表現した素案であり、完成形ではない。今後、新教区発足へ向けて両教区の現状をさらに精査し、より適した教化体制を構築していく。加えて、新教区発足後も時代や状況の変化に合わせて教化体制を適応させていけるよう継続的に検討する。

(2) 財務方針について

② 三条教区教化研修テーマ／共にといえる 人生を生きよう

教区改編に願われている、著しい社会状況の変化に即応し、同朋会運動の更なる推進に必要な教化体制と持続可能な宗門の基盤づくりを新教区として指向し、新教区発足後の教区運営・教務所事務の効率化をはかり、経費削減に努めていく。また、宗派経常費御依頼額について、新型コロナウイルス感染症による特別減額がなされる以前の御依頼額総額(2019年度)に比して減額することを内局に対して要望する。

(3) 宗派経常費の割当について

新宗派経常費の割当は、まず統一した「教区門徒戸数調査」を早急に実施し、新教区発足後すぐに新割当基準を策定し御依頼する。ただし、増減額の限度を設定し、3年間の移行期間を設ける。

(4) 教区費について

統一した教区門徒戸数調査の数値をもとに新教区発足後すぐに新割当基準を策定し御依頼する。その他、宗派経常費に同じ。

(5) 共済について

新教区発足後直ちに統一する。詳細は、新教区準備委員会において定める。

(6) 教区の施設の維持・運用について

三条教区同朋会館及び高田別院会館は、所有権を保有する三条別院及び高田別院において、それぞれ平常の維持管理を行う。また、新教区は応分の負担をする。

合意案の修正にいたった協議経過や宗派に対する要望等については、本号同梱の第3次教区改編説明会資料をご参照ください。

[今後のスケジュール]

- 6月 教区改編委員会・地方協議会(教区から受けた課題の整理及び合意書の作成)
三条・高田教区地方協議会における合意
 - 7月 教区会・教区門徒会通常会(合意の議決)
 - 8月～ 新教区準備委員会の設立・開催
各組教務所長巡回
新教区準備委員会・教区改編委員会
- 2023年
7月 新教区として発足

研修会のご案内

■ 教学研究会「教行信証輪読会」

- ◆日時 2021年6月4日(金)16:00～17:00
 - ◆場所 三条別院
 - ◆内容 「安田理深講述 正信偈講義」の輪読
 - ◆対象 どなたでも(申込不要)
 - ◆参加費 無料
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:西村)
- ### 「大河流覧輪読会」
- ◆日時 2021年6月28日(月)16:00～17:00
 - ◆場所 三条別院
 - ◆内容 藤場俊基著『大河流覧』の輪読
 - ◆対象 どなたでも(申込不要)
 - ◆参加費 無料

◆問合せ 三条教務所(担当:西村)

■ 児童指導者研修会

案内/申込用紙 既送

- ◆期間 2021年6月4日(金)14:00～16:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 鴻巣麻里香氏(KAMECOMI代表)
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 500円
- ◆申込み 5月24日(月)までに
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 結の会(若坊守准坊守)のつどい

案内 既送

『涙いつか虹に～グリーンケアの動きの中で～』

- ◆日時 2021年6月8日(火)13:00～16:00
- ◆会場 Zoomミーティングによりご参加ください(既送のチラシを参照ください)。
- ◆講師 酒井義一氏(東京教区存明寺)
- ◆対象 寺に生活する全ての若手女性(坊守・若坊守・僧侶等問わず)、男性坊守
- ◆参加費 無料
- ◆申込み 5月11日(火)までに必ずチラシ記載のQRコードから、もしくはEメールにてお申込みください。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮堂)

■ 教区坊守会主催 坊守研修会

案内差替同封

【時間の短縮・オンライン参加の追加】

- ◆日時 2021年6月25日(金)13:00～15:45
- ◆場所 三条別院
- ◆講師 畑辺初代氏(真宗大谷派僧侶)
- ◆講題 親鸞・恵信尼が生きた関係を学ぶ
- ◆対象 坊守・前坊守・准坊守・若坊守
- ◆参加費 500円
- ◆申込み ①6月10日(木)までに各組坊守会長へ
または
②Zoomミーティングによる参加(6月10日までにチラシ記載のQRコード等使用し、メールで教務所へ直接申込) ※同梱のチラシに詳細)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮堂)

■ 保育新任者研修報告

講師:五島 満氏(大谷保育協会理事長)



講義の様子 三条別院旧御堂

新任者研修会を終えて

松葉幼稚園 宗村有紀

「ともに生き、ともに育ちあう保育とは」というテーマのもと、真宗保育の理念である『本願に生き、共に育ちあう保育』について学びました。

仏様の願いをよりどころとして相手を尊重しあうことで一緒に生きていく… 改めて一人ひとりの子どもをみつめ、遊びを通して、のびのびと個性豊かに育てていくなかで共に生き

共に育ちあう保育の実践について考えることができました。

時代が変わりゆく中で“常識”が新しい方向性へと変化していることを踏まえ、立ち戻ること、振り返ることを忘れず、常に意識しながら保育をしていかなければなりません。しかし、手を広げて無条件に子どもを受け入れることは、人として保育者としてあたりまえのこと。この気持ちは変わらずに持ち続けながら、みんな尊い、相手を大事に思う、違いを認め合うという関係性を、遊びを通して環境作りし、真宗保育の実現を目指して日々保育していこうと思います。

本願に生き、共に育つ 松葉幼稚園 川村幸恵

五島先生のお話の中で、本願とは受け入れる、見捨てないこと。共にとはみんな尊い、相手を大事に思える、違いを認め合うこと。保育者として摂取不捨の心、無上尊の心を持って子どもたちと向き合う。

研修を終えて、改めて思ったのは、このお話は、人として生きていく上で、“あたりまえに持っているべき心”なのではないか、ということでした。人と関わる上でみんなそれぞれ違う人間、思い考え方が違うのはあたりまえで。だけど、歩みより親しくなる、話し合う、考えの違いを拒否や否定するのではなく、視野が広がる、選択肢が増えると捉える＝それが受け入れる心なのではと思いました。

フレームワーク、意見交換では、他の園の先生方と共通する思いや、子どもたちとの接し方、各学年での対応の違いを話し合い共有することができました。皆が子どもたちに対し一生懸命だからこそ、思い悩み考えているということは共通していました。研修を通して学んだことを明日からの保育に活かして行きたいと思います。

教務所からのお知らせ

◎8月の得度式・得度式説明会について

期日 2021年8月4日(水)臨時、2021年8月7日(土)

いずれも前日に説明会があります。

願書 得度式期日の1ヵ月前まで。

なお、8月の得度式については、2021年4月1日(木)から2021年6月30日(水)までとなります。

感染症対策により、日程が一部変更されています。詳細は得度考査日のご予約いただく際にお伝えします。

◎教区・別院行事予定

2021年	
6/1 (火) 14:00	差別と真宗研修会部門会議
14:00	教化センター運営委員会
6/3 (木) 14:00	教区改編委員会
6/4 (金) 10:00	女性研修会部門会議
11:00	児童指導者研修会 Web
16:00	教行信証輪読会
6/5 (土) 14:00	真宗学院
6/8 (火) 13:00	若坊守准坊守(結の会)のつどい
14:00	別院報恩講実行委員会参拝部会
6/9 (水) 15:00	声明講習会部門会議
18:30	別院書道教室
6/10 (木) 14:00	教区慶讃事業検討委員会

	14:00	教化センター学習会
6/12 (土)	14:00	真宗学院
6/13 (日)	10:00	別院庭講・定例法話・有志の会
6/14 (月)	14:00	三条・高田地方協議会(高田別院)
6/15 (火)	13:00	新任教師研修会
6/16 (水)	14:00	企画委員会
6/17 (木)	14:00	教化センター学習会
	15:00	災害支援実行委員会
6/18 (金)	14:00	別院報恩講実行委員会教化部会
6/19 (土)	14:00	真宗学院
6/20 (日)	14:00	別院公開講座
6/21 (月)	14:00	教化委員会総会
	18:00	別院声明教室
6/22 (火)	14:00	御坊市執行部会議
	14:00	(中止)教団連合 和訳正信偈講習会
6/23 (水)	14:00	同朋の会教導連絡協議会研修会
	18:30	別院書道教室
6/24 (木)	14:00	教化センター学習会
6/25 (金)	13:00	坊守研修会
	14:00	教区改編委員会
	16:30	別院報恩講実行委員会財務部会
6/26 (土)	14:00	真宗学院
6/27 (日)	13:30	宗祖御命日昼夜法要
6/28 (月)	10:00	宗祖御命日日中法要
	14:00	教区慶讃事業検討委員会
	16:00	スカウト会議 Web
		大河流覧輪読会
6/29 (火)	14:00	三条・高田地方協議会
7/3 (土)	14:00	真宗学院
7/6 (火)		～7日全国教区会正副議長会
7/7 (水)		～8日全国教区門徒会正副会長会
7/8 (木)	14:00	教化センター学習会
7/9 (金)	13:00	結の会実行委員会
7/12 (月)	14:00	御依頼適正審議会
7/13 (火)	10:00	別院庭講・定例法話・有志の会
7/14 (水)	18:30	別院書道教室
7/15 (木)	13:30	教区坊守役員会
	14:00	教化センター学習会
7/16 (金)	14:00	教区会 決算委員会
7/17 (土)	14:00	真宗学院
7/19 (月)	14:00	教区会 予算委員会
7/20 (火)	14:00	教区会 特別委員会(未定)
7/21 (水)	10:00	教区門徒会常任委員会
	14:00	教区会参事会
7/24 (土)	14:00	～25日真宗学院前期試験
7/27 (火)	13:30	宗祖御命日昼夜法要
7/28 (水)	10:00	宗祖御命日日中法要
	18:30	別院書道教室
7/29 (木)	14:00	教区会
7/30 (金)	10:00	教区門徒会

新潟親鸞学会からのお知らせ

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Email choganji@nifty.com